

報道機関各位

熊本大学

公開講演会&パネルディスカッション

「チンギス・カンに学ぶ地球環境問題 ーなぜ、モンゴル帝国は歴史に突然姿を現し、そして、消えていったのかー」を開催

ユーラシア大陸の東西にまたがる巨大帝国モンゴルを造った“蒼き狼”チンギス・カン。乾燥・寒冷の厳しい自然環境のモンゴル高原で、強大な力を生み出す背景とは何だったのでしょうか？それは厳しい環境を巧く利用し、乏しい資源を最大限に活かす知恵をもっていたからです。しかし、国が繁栄し、産業が発達すると、環境破壊が深刻化していきました。やがて自然災害や疫病が襲い、わずか150年ほどでモンゴル帝国は歴史から姿を消しました。

人類史上最高の繁栄の蔭で、環境悪化による災害、飢餓、紛争に脅かされている現代社会は、まさにモンゴル帝国がたどった歩みに似ています。私たちが直面している地球環境問題を解決するヒントが、モンゴル帝国興亡の歴史に隠されているような気がします。

私たちの研究プロジェクトでは、チンギス・カンの環境を活かす知恵を学び、モンゴル帝国滅亡へ至った過程を検証しながら、過去から現在や未来を考える「温故知新」というスタンスで地球環境問題に取り組んでいます。地球環境問題に歴史から解決策を探し出すことができるか、一緒に考えてみませんか！

このようなコンセプトで、研究成果の公開講演会を開催いたします。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【日時】平成21年12月20日（日）12：30～17：30

【場所】熊本大学工学部百周年記念館（黒髪南地区）

【主催】日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 A)「モンゴル帝国興亡史の解明を目指した環境考古学的研究」プロジェクト・熊本大学埋蔵文化財調査室

【参加対象】どなたでも・参加費無料（懇親会費は別途3千円程度を予定しています）

【プログラム】別紙チラシを参照願います。

【申込方法】12月16日までに、次のファックスまたは電子メール宛に、①お名前、②懇親会の出欠、を記載の上、お申し込みください。

ファックス 熊本大学埋蔵文化財調査室 096-342-3832

電子メール 新潟大学白石研究室 shira@human.niigata-u.ac.jp

※ 熊本大学ホームページにも掲載しています。http://www.kumamoto-u.ac.jp/

～問い合わせ先～

熊本大学埋蔵文化財調査室

チンギス・カンプロジェクト講演会係

TEL：096-342-3832

公開講演会&パネルディスカッション

チンギス・カンに学ぶ

地球環境問題

なぜ、モンゴル帝国は歴史に突然姿を現し、
そして、消えていったのか？



とき

2009年12月20日(日)
12時30分開場

ところ

熊本大学工学部百周年記念館
熊本市黒髪



主催：日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究A）「モンゴル帝国興亡史の解明を目指した環境考古学的研究」
プロジェクト、熊本大学埋蔵文化財調査室

ユーラシア大陸の東西にまたがる巨大帝国モンゴルを造った“蒼き狼”チンギス・カン。乾燥・寒冷の厳しい自然環境のモンゴル高原で、強大な力を生み出す背景とは何だったのでしょうか?それは厳しい環境を巧く利用し、乏しい資源を最大限に活かす知恵を持っていたからです。しかし、国が繁栄し、産業が発達すると、環境破壊が深刻化していきました。やがて自然災害や疫病が襲い、わずか150年ほどでモンゴル帝国は歴史から姿を消しました。

人類史上最高の繁栄の蔭で、環境悪化による災害、飢餓、紛争に脅かされている現在社会は、まさにモンゴル帝国がたどった歩みに似ています。私たちが直面している地球環境問題を解決するヒントが、モンゴル帝国興亡の歴史に隠されているような気がします。

私たちの研究プロジェクトでは、チンギス・カンの環境を活かす知恵を学び、モンゴル帝国滅亡へ至った過程を検証しながら、過去から現在や未来を考える「温故知新」というスタンスで地球環境問題に取り組んでいます。地球環境問題に歴史から解決策を探し出すことができるか、一緒に考えてみませんか!

●プログラム●

2009年12月20日(日) 熊本大学工学部百周年記念館(熊本大学黒髪南地区)	
12:30	開場
13:00-13:05	開会の辞
13:05-13:30	趣旨説明(白石典之:新潟大学超域研究機構教授)
13:30-14:30	講演①:「遺跡にみる遊牧民の心」 (D. ツェペンドルジ:モンゴル科学アカデミー考古学研究所所長)
14:30-15:10	講演②:「モンゴル遊牧民と自然災害」(篠田雅人:鳥取大学乾燥地研究センター教授)
15:10-15:30	休憩
15:30-17:10	パネルディスカッション「環境考古学からモンゴル帝国の興亡を考える」 パネラー:小畑弘己:熊本大学文学部准教授 相馬秀廣:奈良女子大学文学部教授 村上恭通:愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター長 司会:白石典之
17:10-17:25	総括「考古学と文献史学の連携、その展望」(松田孝一:大阪国際大学ビジネス学部教授)
17:25-17:30	閉会の辞
18:00-	懇親会

***参加費無料(懇親会費は別)**

***参加希望の方は12月16日(水)までに、下記のファックスまたは電子メール宛にお申込みください(懇親会の出欠もお忘れなく)。**

FAX : 熊本大学埋蔵文化財調査室 096-342-3832

Eメール: 新潟大学白石研究室 shira@human.niigata-u.ac.jp